

科目名	介護福祉実習Ⅱ(在宅介護)	後期	実習	1 単位
サブタイトル	訪問介護実習			
担当者	泉 妙子、津田 理恵子、木村 あい、名定 慎也			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		○
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 訪問介護事業所の機能・役割が理解できる。</li> <li>2. 対象者の地域における生活支援が理解できる。</li> <li>3. ケアマネジメントが理解できる。</li> <li>4. 地域で働く介護福祉士の役割が理解できる。</li> <li>5. 多職種協働の実践・チームケアが理解できる。</li> </ol> <p>[授業概要]</p> <p>介護福祉士若しくは看護師の資格を持って5年以上の実現場での経験がある教員が介護福祉実習Ⅱでの学びが深まるように以下の項目を中心に指導する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 5日間の訪問介護実習を行い、個々の生活リズムや個性を理解し、地域の生活の場において個別ケアを学ぶ。</li> <li>2) 対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための介護過程の展開ができる能力を養う。</li> <li>3) 本人・家族の人とコミュニケーションの実践、特性に応じた生活支援技術を確認する。</li> <li>4) 多職種協働や関連機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割について学ぶ。</li> </ol> <p>[準備学修(授業前後の主体的な学修)]</p> <p>以下の項目を中心に、事前に根拠法令に基づく最新福祉サービス・改正点・課題など資料を作成しておく。毎日実習目標の立案と、終了後実習日誌・考察まとめに3時間の振り返り時間を要す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 事業所・施設の概要について調べる</li> <li>2) 訪問実習に必要な知識、技術の復習をしておく</li> </ol> <p>[授業計画]</p> <p>実習行動計画書にそって介護目標を達成する  訪問介護場所の特徴を理解する  対象となる人の生活ニーズを理解する  家族の多様なニーズを理解する  ケアマネジメントの流れを理解する  社会資源の活用・福祉用具の活用  介護福祉士の果たす役割  記録・報告・連絡・相談の重要性  本人や家族とのコミュニケーション  多職種協働の実践とチームアプローチの重要性  本人の望む生活・在宅支援と介護福祉士の役割  地域における生活支援の実践  介護福祉士の職業倫理  実習目標到達度の確認と課題</p>				

科目名	介護福祉実習Ⅱ(在宅介護)	後期	実習	1単位
サブタイトル	訪問介護実習			
担当者	泉 妙子、津田 理恵子、木村 あい、名定 慎也			
<p>[ 成績評価方法 ] 実習評価票に基づく評価</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 個別による対面指導・グループ演習・個別にmanabaを活用する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉1-1/多様な福祉課題を客観的に読み解き、その解決法を見出すために必要な社会福祉の専門的な知識を備えている。 成績評価方法:実習評価票に基づく評価</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉1-2/多様な福祉課題の解決に向けて、社会に貢献していくために必要な社会福祉の専門的な技能を身につけている。 成績評価方法:実習評価票に基づく評価</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉2-1/家庭・地域社会・職場などで発生する多様な福祉課題に気づき、それをクリティカルに読み解くために求められる思考力を有している。 成績評価方法:実習評価票に基づく評価</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉2-2/多様な福祉課題の解決に向けて、人々の日常生活や社会生活を、福祉の視点で捉えるのみならず、人々の文化的背景も大切にしながら、包括的にマネジメントするために必要な判断力と実践力を有している。 成績評価方法:実習評価票に基づく評価</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉2-3/福祉・保健・医療・教育・心理などの専門職から当事者・地域住民まで、幅広い機関・団体や人びととの信頼関係を築き、豊かなコミュニケーションを図るために必要な共感性と表現力を備えている。 成績評価方法:実習評価票に基づく評価</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉3-1/家庭・地域社会・職場において一市民としての自覚を持ち、また社会福祉専門職としての使命感を持って、社会に貢献していくための主体性を備えている。 成績評価方法:実習評価票に基づく評価</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉3-2/現代社会における人びとのダイバーシティ(多様性)を尊重し、すべての人を等しく大切にできる柔軟で寛容な姿勢を有している。 成績評価方法:実習評価票に基づく評価</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉3-3/誰もが等しく大切にされる公正な社会を築くために、異なる背景や価値観をもつ人びとも対等かつ民主的な関係性(パートナーシップ)を形成し、協働していく力を有している。 成績評価方法:実習評価票に基づく評価</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習評価票に基づく評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習評価票に基づく評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習評価票に基づく評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習評価票に基づく評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習評価票に基づく評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実習評価票に基づく評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実習評価票に基づく評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習評価票に基づく評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画力・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習評価票に基づく評価</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 介護福祉実習の手引き</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 適宜配布</p>				